



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月12日

上場会社名 株式会社大気社 上場取引所 東  
 コード番号 1979 URL <https://www.taikisha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝利昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中川正徳 (TEL) 03-5338-5052  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	154,603	△4.7	8,091	28.0	8,744	26.6	4,058	△0.9
2018年3月期第3四半期	162,217	22.8	6,320	24.7	6,909	14.1	4,093	△4.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,590百万円(△85.2%) 2018年3月期第3四半期 10,732百万円(395.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	119.13	—
2018年3月期第3四半期	119.76	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	211,747	109,049	49.2
2018年3月期	215,392	110,650	48.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 104,156百万円 2018年3月期 105,188百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	25.00	—	50.00	75.00
2019年3月期	—	25.00	—		
2019年3月期(予想)				52.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	△5.1	12,300	1.0	13,000	△0.6	6,200	△14.5	181.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 1社(社名) Geico Taikisha Europe Ltd.

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	35,082,009株	2018年3月期	35,082,009株
2019年3月期3Q	1,013,256株	2018年3月期	1,012,999株
2019年3月期3Q	34,068,939株	2018年3月期3Q	34,180,661株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法について)

第74期第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況(連結)	10
(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況(個別)	11
(3) 地域に関する情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な企業業績、雇用情勢の改善、個人消費の増加などを背景に緩やかな拡大基調が続きましたが、欧州では輸出の伸び悩みなどにより減速傾向となりました。また、アジアにおいて中国では米中貿易摩擦の影響による個人消費の低迷等により減速傾向となるなど、全体として景気の回復が弱まってきております。日本経済は、個人消費の緩やかな回復や、底堅い設備投資などによる企業業績の改善により、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場は電子部品メーカーなどによる投資が好調に推移し、首都圏におけるオフィスビルの建設需要も高い状況が続きました。一方、海外市場は米中貿易摩擦などの影響による不透明感が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における受注工事高は、国内、海外ともに増加し、1,865億29百万円(前年同期比14.4%増加)となり、うち海外の受注工事高は、768億52百万円(前年同期比11.6%増加)となりました。

完成工事高は、国内は増加したものの海外で減少し、1,546億3百万円(前年同期比4.7%減少)となり、うち海外の完成工事高は、710億72百万円(前年同期比16.6%減少)となりました。

利益面につきましては、環境システム事業が好調に推移し、営業利益は80億91百万円(前年同期比17億71百万円増加)、経常利益は87億44百万円(前年同期比18億35百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億58百万円(前年同期比35百万円減少)となりました。

セグメントごとの業績(セグメント間の内部取引高を含む)は次のとおりであります。

#### 環境システム事業

受注工事高は、タイなどで減少したものの、国内においてはビル空調分野での首都圏の旺盛な建設需要や産業空調分野での電子部品メーカーによる積極的な設備投資を取り込んだことにより増加し、前年同期を上回りました。完成工事高は、国内のビル空調分野などで減少したものの、国内の産業空調分野およびタイなどで増加し、前年同期を上回りました。

この結果、受注工事高は、1,275億1百万円(前年同期比12.8%増加)となりました。このうちビル空調分野は、397億17百万円(前年同期比18.2%増加)、産業空調分野は、877億83百万円(前年同期比10.5%増加)となりました。完成工事高は、1,051億70百万円(前年同期比12.5%増加)となりました。このうちビル空調分野は、301億92百万円(前年同期比6.5%減少)、産業空調分野は749億77百万円(前年同期比22.5%増加)となりました。セグメント利益(経常利益)につきましては93億72百万円(前年同期比22億7百万円増加)となりました。

#### 塗装システム事業

受注工事高は、北米などで減少したものの、フランスにおいて大型案件の受注があったことにより、前年同期を上回りました。完成工事高は、ロシア、インドなどで増加したものの、北米では前年同期に大型案件2件が大きく寄与したことの反動減となり、前年同期を下回りました。

この結果、受注工事高は、590億27百万円(前年同期比18.1%増加)となり、完成工事高は、494億33百万円(前年同期比28.1%減少)となりました。セグメント損失(経常損失)につきましては、前年同期とは異なる北米のプロジェクトで、第2四半期連結決算において認識した採算悪化により、7億42百万円(前年同期比1億97百万円の損失増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末に比べ0.1%減少し、1,588億95百万円となりました。これは未成工事支出金が22億17百万円、その他のうち仮払消費税等が66億87百万円それぞれ増加し、現金預金が80億16百万円、受取手形・完成工事未収入金等が25億48百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は前連結会計年度末に比べ6.3%減少し、528億51百万円となりました。これは有形固定資産が9億50百万円増加し、投資有価証券が28億37百万円、のれんが20億18百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ1.7%減少し、2,117億47百万円となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は前連結会計年度末に比べ3.2%減少し、907億23百万円となりました。これは短期借入金が65億40百万円増加し、支払手形・工事未払金等が138億69百万円、未払法人税等が30億86百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は前連結会計年度末に比べ8.8%増加し、119億73百万円となりました。これは長期借入金が17億6百万円増加し、その他のうち繰延税金負債が6億95百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ2.0%減少し、1,026億97百万円となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ1.4%減少し、1,090億49百万円となりました。これは利益剰余金が15億3百万円増加し、その他有価証券評価差額金が21億59百万円、非支配株主持分が5億69百万円それぞれ減少したことなどによります。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月12日に発表した通期の業績予想について変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	47,147	39,131
受取手形・完成工事未収入金等	101,947	99,399
未成工事支出金	2,120	4,337
材料貯蔵品	348	428
その他	7,990	16,065
貸倒引当金	△539	△465
流動資産合計	159,015	158,895
固定資産		
有形固定資産	9,414	10,364
無形固定資産		
のれん	2,762	744
その他	3,364	2,953
無形固定資産合計	6,126	3,697
投資その他の資産		
投資有価証券	30,724	27,887
退職給付に係る資産	6,311	6,370
その他	3,815	4,565
貸倒引当金	△14	△34
投資その他の資産合計	40,836	38,789
固定資産合計	56,377	52,851
資産合計	215,392	211,747
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	60,590	46,721
短期借入金	6,730	13,270
未払法人税等	3,859	773
未成工事受入金	11,870	14,081
賞与引当金	—	3,100
完成工事補償引当金	690	691
工事損失引当金	469	598
役員賞与引当金	122	85
その他	9,409	11,399
流動負債合計	93,742	90,723
固定負債		
長期借入金	1,606	3,312
役員退職慰労引当金	64	59
退職給付に係る負債	1,563	1,597
その他	7,765	7,004
固定負債合計	11,000	11,973
負債合計	104,742	102,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金	7,258	7,258
利益剰余金	78,698	80,201
自己株式	△2,475	△2,476
株主資本合計	89,936	91,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,242	11,083
繰延ヘッジ損益	3	12
為替換算調整勘定	1,141	780
退職給付に係る調整累計額	864	841
その他の包括利益累計額合計	15,252	12,717
非支配株主持分	5,461	4,892
純資産合計	110,650	109,049
負債純資産合計	215,392	211,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
完成工事高	162,217	154,603
完成工事原価	141,287	130,774
完成工事総利益	20,929	23,828
販売費及び一般管理費	14,609	15,737
営業利益	6,320	8,091
営業外収益		
受取利息	320	235
受取配当金	423	509
保険配当金	176	189
不動産賃貸料	78	78
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	198	280
営業外収益合計	1,198	1,292
営業外費用		
支払利息	164	197
不動産賃貸費用	15	19
為替差損	246	172
持分法による投資損失	71	170
その他	111	79
営業外費用合計	609	639
経常利益	6,909	8,744
特別利益		
固定資産処分益	49	11
投資有価証券売却益	—	51
特別利益合計	49	63
特別損失		
固定資産処分損	51	191
減損損失	26	116
のれん償却額	—	1,819
特別損失合計	78	2,128
税金等調整前四半期純利益	6,880	6,679
法人税、住民税及び事業税	2,407	2,829
法人税等調整額	△675	△398
法人税等合計	1,732	2,430
四半期純利益	5,147	4,248
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,054	190
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,093	4,058



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	5,147	4,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,596	△2,159
繰延ヘッジ損益	203	10
為替換算調整勘定	546	△461
退職給付に係る調整額	232	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△28
その他の包括利益合計	5,584	△2,658
四半期包括利益	10,732	1,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,491	1,524
非支配株主に係る四半期包括利益	1,241	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるGeico S.p.A.は、同社を存続会社とし、同社の連結子会社であるGeico Taikisha Europe Ltd.を消滅会社とする吸収合併を行いました。その結果、Geico Taikisha Europe Ltd.は消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、Geico Taikisha Europe Ltd.は当社の特定子会社に該当しておりました。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	93,479	68,738	162,217	—	162,217
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	8	10	△10	—
計	93,481	68,746	162,228	△10	162,217
セグメント利益又は損失(△)	7,165	△545	6,619	289	6,909

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額289百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)287百万円及びその他の調整額2百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	105,170	49,432	154,603	—	154,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	105,170	49,433	154,603	△0	154,603
セグメント利益又は損失(△)	9,372	△742	8,629	114	8,744

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額114百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)112百万円及びその他の調整額2百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

塗装システム事業において、Geico S.p.A.に係るのれんの一時償却を行い、特別損失に計上しております。当第3四半期連結累計期間における当該一時償却によるのれんの減少額は1,819百万円であります。

### 3. 補足情報

#### (1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況(連結)

区分	前第3四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		増減		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)	
受注工事高							
環境システム事業							
ビル空調	33,598	20.6	39,717	21.3	6,119	18.2	
産業空調	79,443	48.7	87,783	47.1	8,340	10.5	
小計	113,041	69.3	127,501	68.4	14,460	12.8	
(うち海外)	(27,705)	(17.0)	(28,331)	(15.2)	(626)	(2.3)	
塗装システム事業	49,971	30.7	59,027	31.6	9,056	18.1	
(うち海外)	(41,151)	(25.2)	(48,521)	(26.0)	(7,370)	(17.9)	
合計	163,012	100.0	186,529	100.0	23,517	14.4	
(うち海外)	(68,857)	(42.2)	(76,852)	(41.2)	(7,995)	(11.6)	
完成工事高							
環境システム事業							
ビル空調	32,300	19.9	30,192	19.5	△2,108	△6.5	
産業空調	61,178	37.7	74,977	48.5	13,799	22.6	
小計	93,479	57.6	105,170	68.0	11,691	12.5	
(注)2,3 (うち海外)	(25,825)	(15.9)	(29,297)	(19.0)	(3,472)	(13.4)	
塗装システム事業	(注)2,3	68,738	42.4	49,432	32.0	△19,306	△28.1
(うち海外)		(59,431)	(36.7)	(41,775)	(27.0)	(△17,656)	(△29.7)
合計		162,217	100.0	154,603	100.0	△7,614	△4.7
(うち海外)		(85,257)	(52.6)	(71,072)	(46.0)	(△14,185)	(△16.6)
繰越工事高							
環境システム事業							
ビル空調	55,770	32.5	61,764	32.3	5,994	10.7	
産業空調	58,803	34.2	63,736	33.3	4,933	8.4	
小計	114,574	66.7	125,501	65.6	10,927	9.5	
(うち海外)	(21,205)	(12.4)	(22,297)	(11.7)	(1,092)	(5.1)	
塗装システム事業		57,199	33.3	65,778	34.4	8,579	15.0
(うち海外)		(51,072)	(29.7)	(57,998)	(30.3)	(6,926)	(13.6)
合計		171,773	100.0	191,280	100.0	19,507	11.4
(うち海外)		(72,278)	(42.1)	(80,295)	(42.0)	(8,017)	(11.1)

(注) 1 受注工事高、完成工事高及び繰越工事高は、外部顧客に対する取引金額となっております。

2 前第3四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高93,479百万円とセグメント情報における環境システム事業の売上高93,481百万円との差異2百万円、及び塗装システム事業の完成工事高68,738百万円とセグメント情報における塗装システム事業の売上高68,746百万円との差異8百万円は、セグメント間の内部売上高であります。

3 当第3四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高とセグメント情報における環境システム事業の売上高との差異はありません。また、塗装システム事業の完成工事高49,432百万円とセグメント情報における塗装システム事業の売上高49,433百万円との差異0百万円は、セグメント間の内部売上高であります。

(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (個別)

区分	前第3四半期 累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期 累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	31,885	31.9	37,380	32.5	5,495	17.2
産業空調	51,834	51.9	59,042	51.3	7,208	13.9
小計	83,719	83.8	96,422	83.8	12,703	15.2
(うち海外)	(247)	(0.2)	(95)	(0.1)	(△152)	(△61.5)
塗装システム事業	16,228	16.2	18,684	16.2	2,456	15.1
(うち海外)	(9,573)	(9.6)	(9,798)	(8.5)	(225)	(2.4)
合計	99,947	100.0	115,107	100.0	15,160	15.2
(うち海外)	(9,821)	(9.8)	(9,894)	(8.6)	(73)	(0.7)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	30,809	37.3	28,548	32.7	△2,261	△7.3
産業空調	35,511	42.9	45,236	51.7	9,725	27.4
小計	66,320	80.2	73,784	84.4	7,464	11.3
(うち海外)	(240)	(0.3)	(84)	(0.1)	(△156)	(△65.0)
塗装システム事業	16,417	19.8	13,626	15.6	△2,791	△17.0
(うち海外)	(8,533)	(10.3)	(7,390)	(8.5)	(△1,143)	(△13.4)
合計	82,738	100.0	87,410	100.0	4,672	5.6
(うち海外)	(8,773)	(10.6)	(7,474)	(8.6)	(△1,299)	(△14.8)
繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	55,078	53.2	60,569	52.1	5,491	10.0
産業空調	37,571	36.3	41,460	35.7	3,889	10.4
小計	92,650	89.5	102,030	87.8	9,380	10.1
(うち海外)	(49)	(0.0)	(31)	(0.0)	(△18)	(△36.7)
塗装システム事業	10,904	10.5	14,131	12.2	3,227	29.6
(うち海外)	(5,754)	(5.6)	(7,194)	(6.2)	(1,440)	(25.0)
合計	103,554	100.0	116,161	100.0	12,607	12.2
(うち海外)	(5,803)	(5.6)	(7,225)	(6.2)	(1,422)	(24.5)

(3) 地域に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
76,959	33,994	14,895	16,182	7,609	1,508	3,999

その他 (百万円)	合計 (百万円)
7,067	162,217

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
83,530	13,849	18,653	13,014	9,272	1,246	6,388

その他 (百万円)	合計 (百万円)
8,647	154,603